

# あつみ温泉のまちづくり

(山形県鶴岡市)

## あつみ温泉のまちづくり（山形県鶴岡市）

# もてなしのデザインで、温泉街を歩く観光客が増加

道路特性：商業・生活系街路、観光地系

事業特性：道路線形・構造改良、道路空間再編、歩行空間整備、道路修景、無電柱化



### ◆事業の内容

- 足湯の設置など歩いて楽しい温泉街として、歩行者主体の道路空間の再配分を実施
- 無電柱化と共に、道路附属物の修景、舗装の美装化等を実施

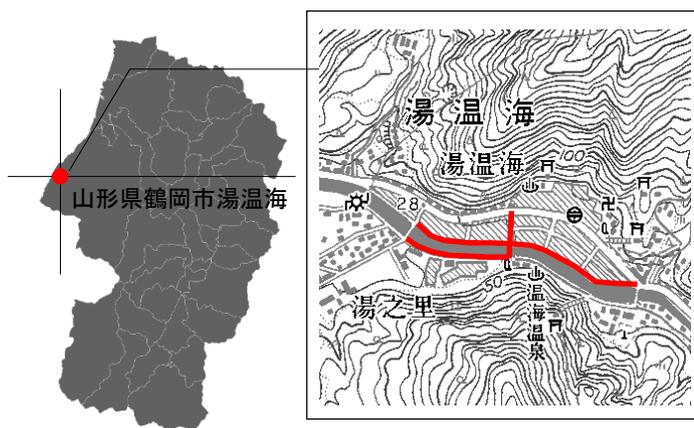
### ◆事業の成功要因（実践のポイント）

- 学識者の理念への共感を出発とした取り組み
  - ・学識者からの継続的なアドバイスに基づき、観光関係者・地域住民・行政が一丸となって、H12～H21の9年に渡ったまちづくり・まちづくりを実践。
- 事業の積み重ねによるスパイラル効果
  - ・一貫した理念のもと、複数の事業に取り組んだ結果、それぞれに相乗効果を発揮。

### ◆事業の成果

- もてなしのデザインの実践により、温泉街を歩く観光客の姿が目立つ様になり、来訪者に対するあいさつの装置（花や看板）を置くなど、通り全体の雰囲気大きく改善
- 道路整備を機に地元の自主的なイベントが増加

### ◆事業箇所



### ◆事業データ

- ・事業主体：鶴岡市
- ・路線名称：山形県鶴岡市湯温海地内【湯のまちリフレッシュ事業：葉月橋通線】
- ・道路延長：約113m
- ・道路幅員：15.0m（2車線）歩車共存道路
- ・事業期間：平成12年～平成14年
- 【くらしのみちゾーン整備事業：  
庚申堂湯見ヶ代線】
- ・道路延長：約610m
- ・道路幅員：8.2～8.7m（1車線）歩車共存道路
- ・事業期間：平成17年～平成20年

## あつみ温泉のまちづくり（山形県鶴岡市）

### ◆事業概要

- ・バブル経済の崩壊、旅行形態の変化等が要因で、あつみ温泉の観光客数は減少傾向が続いていた。
- ・山形県の景観アドバイザーである学識者の指導のもと、あつみ温泉の将来像(目標)を「歩いて楽しい温泉街」に定め、その実現に向けて取組んだ。
- ・歩行者優先を確保しつつ、歩車道一体型のみちづくりを進め、安心して歩行ができ、かつ、所々で休憩し、くつろぐことが出来るみちづくりをコンセプトに、自動車が人間に遠慮しながら走行するような道路空間を創出。



### ◆整備概要

- 車道の1車線化に伴う道路線形改良
- 電線類の地中化
- 足湯の整備
- 歩道の美装化
- 道路附属物（照明等）の修景



## 実践上のポイント（構想・計画段階）

### ～学識者の理念への共感を出発とした取り組み～

- ・学識者を山形県の景観アドバイザーとして招聘した当時は、街路整備などの事業ありきではなく、街をなんとかしなければという思いだけが先行していた。
- ・学識者は、実際に街を歩き、あつみ温泉街衰退の原因は「まちの魅力をつくってこなかったことが最大の原因」である事を指摘したうえで、歩いて楽しい温泉街づくりを目指すことを提言し、多くの市民が共感。
- ・以降、学識者を交えた講演会・研修会の開催を重ねた。
- ・事業へのアドバイスに加え、なぜ景観が大事なのかなど、地元の意識改革も含め併行して実施。
- ・その取り組みは、直近の懇談会まで約13年の長期に渡る。

#### 【地元と学識者との継続的な主な取り組み】

- ・H12.06 湯のまち景観整備検討委員会 設立
- ・H12.10 湯のまち景観整備講演会 開催※
- ・H13.05 あつみ温泉の魅力づくりについて語る会※
- ・H14.12 「観光の地域づくり」講演会※
- ・H15.03 「温泉観光地の活性化とまちづくり」講演会※  
湯のまちリフレッシュ事業竣工（葉月橋通り）
- ・H15.08 「お客様をもてなす店づくり」講演会※
- ・H16.06 「くらしのみちシンポジウム」開催※
- ・H16.10 「今後の温海温泉のまちづくりについて」意見交換会※
- ・H17.03 温海温泉活性化施設竣工（足湯カフェ）
- ・H18.03 温海川やすらぎの川整備事業竣工 [県事業]  
（川辺テラス、足湯）
- ・H18.04 まちづくり講演会※
- ・H18.08 温海温泉まちづくり懇談会※
- ・H18.12 特殊トランス技術開発等評価委員会※
- ・H19.02 くらしのみちゾーン整備説明会※
- ・H19.10 沿道対策等について懇談※
- ・H20.03 みちのなんでもいいたい放題：出張座談会※
- ・H21.02 「あつみ、どうする、どうなる徹底討論」シンポジウム※
- ・H21.08 くらしのみち街路完成記念式典＋記念講演※
- ・H23.09 あつみ温泉活性化討論会※
- ・H25.08 あつみ温泉住民懇談会※

※印の取り組みには学識者が参加

### ～事業の積み重ねによるスパイラル効果～

#### ■葉月橋通りの改修と足湯「あんべ湯」

- ・平成14年に「湯のまちリフレッシュ事業」として、葉月橋通り改修時に道路の中央分離帯に足湯「あんべ湯」やベンチを整備。
- ・これにより多くの人が滞留するようになり、沿道店舗のソフトクリーム販売等が相乗効果を生み、更に人が集るようになった。



葉月橋の橋面空間



整備された葉月橋通線の全景

## あつみ温泉のまちづくり（山形県鶴岡市）

### ■足湯カフェ「チットモツシェ」

- ・かじか通り沿いに建つ使用されていない民間保養施設を旧温海町で買い取り、平成17年に足湯カフェをオープン。外構を撤去することで開放感を創出。
- ・現在は施設を地元まちづくり団体に譲渡し、民間活力により施設を運営。



足湯「もっしえ湯」



かじか通りに面したカフェ

### ■温海川沿いの川辺テラス、足湯「もっけ湯」※県事業

- ・平成17年、温海川とまちの一体性を図るため、温海川の空間内に休息施設や足湯を設置。



足湯「もっけ湯」



川辺テラス

### ■庚申堂湯見ヶ代線（かじか通り）の改修

- ・安心して歩行でき、かつ、所々で休憩し、くつろぐことの出来るみちづくりとして、電線類地中化、車両の一方通行規制と車線スラローム化、休憩施設の整備を実施。
- ・温海川の景観を楽しめるように防護柵の撤去や川沿いの桜の間引きを実施。



一方通行規制によりスラローム化した車線



休憩施設

#### 【実施事業とその内容】

年度	事業名	整備施設名
H14年度	湯のまちリフレッシュ事業（旧温海町）	葉月橋通り・足湯「あんべ湯」
H16年度	あつみ温泉活性化施設整備事業（旧温海町）	足湯カフェ「チットモツシェ」
H17年度	やすらぎの川整備事業（山形県）	川辺のテラス・足湯「もっけ湯」
H20年度	くらしのみちゾーン整備事業（鶴岡市）	無電柱化・一方通行規制ほか

## 実践上のポイント（設計・施工段階）

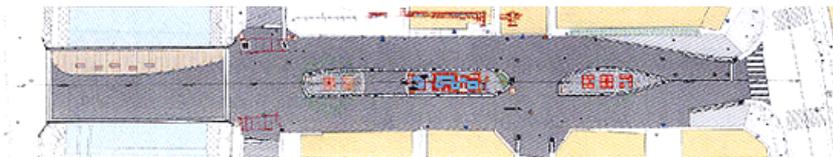
### ～徹底した現場主義による意識の共有～

- ・ 現場主義を徹底させ、地元住民を交えて現場確認を行いながら、足湯空間となるスペースを実際にテープで仕切り、ベンチの高さを皆で座ってみながら決定するなど、出来上がりのイメージを共有しながら検討を進めた。



現地での原寸大の施設検討（葉月橋）

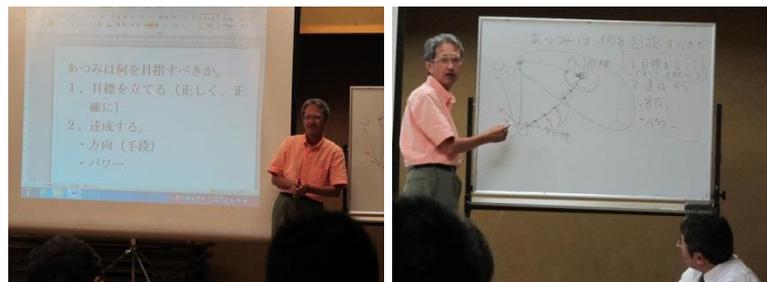
出典：<http://www.e-maeda.co.jp/approach/001.html>



葉月橋通り計画平面図

出典：<http://www.e-maeda.co.jp/approach/001.html>

- ・ 講演会や懇談会など地元住民に対する意識改革への取り組みにおいて、学識者は2つの写真を対比的に見せ、どちらが良いかを判断させるといった議論の進め方で、専門的な知識を持たない住民にも判り易いものであった。



意見交換会の様子

出典 <http://blogs.yahoo.co.jp/momotosedesign/36006677.html>

- ・ 暮らしのみちゾーン事業では、現場での舗装材や色彩の指示など、学識者の具体的なアドバイスを受けた。
- ・ 沿道の店舗や旅館に対しても、花や手書き看板などの「あいさつの装置」によるおもてなしメッセージの発信などのアドバイスを受けた。



現地でのアドバイスの様子

出典：<http://hakariya.exblog.jp/17709533/>

## 実践上のポイント（管理段階）

### ～地域の整備に対する愛着を背景にした維持管理～

- ・ 足湯整備にあたっては、もてなしのデザインと持続的なメンテナンスへの取り組みを考慮して地場産の杉を使用したこと等から、整備に対する地域の愛着が醸成。
- ・ この愛着を背景に、季節による落葉や苔の発生、冬季晴天時の足湯利用等から、足湯の清掃には自治会等が自主的に実施。



足湯周辺の清掃状況

# 整備効果

## ～道路整備により、温泉街を歩き、憩う観光客が増加～

- ・ 事業完了後の平成 22 年に「あつみ温泉実態調査」アンケートを実施した結果、**観光客は整備前よりも増加し、且つ満足度も高いと回答**している。

<b>●お客の増減</b> (かじか通り整備前との比較) ※店舗へのアンケート	⑥ 地元以外のお客の増減(かじか通り整備前との比較)																																																						
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>男性</th> <th>女性</th> <th>不明</th> <th>計</th> <th>構成比</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>天いに増えた</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>2.6%</td> </tr> <tr> <td>少し増えた</td> <td>7</td> <td>4</td> <td>0</td> <td>11</td> <td>28.2%</td> </tr> <tr> <td>あまり変わらない</td> <td>9</td> <td>8</td> <td>0</td> <td>17</td> <td>43.6%</td> </tr> <tr> <td>少し減った</td> <td>1</td> <td>4</td> <td>0</td> <td>5</td> <td>12.8%</td> </tr> <tr> <td>だいぶ減った</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>0</td> <td>3</td> <td>7.7%</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>2.6%</td> </tr> <tr> <td>未記載</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>2.6%</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>20</td> <td>18</td> <td>1</td> <td>39</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		男性	女性	不明	計	構成比	天いに増えた	0	0	1	1	2.6%	少し増えた	7	4	0	11	28.2%	あまり変わらない	9	8	0	17	43.6%	少し減った	1	4	0	5	12.8%	だいぶ減った	1	2	0	3	7.7%	その他	1	0	0	1	2.6%	未記載	1	0	0	1	2.6%	計	20	18	1	39	
	男性	女性	不明	計	構成比																																																		
天いに増えた	0	0	1	1	2.6%																																																		
少し増えた	7	4	0	11	28.2%																																																		
あまり変わらない	9	8	0	17	43.6%																																																		
少し減った	1	4	0	5	12.8%																																																		
だいぶ減った	1	2	0	3	7.7%																																																		
その他	1	0	0	1	2.6%																																																		
未記載	1	0	0	1	2.6%																																																		
計	20	18	1	39																																																			
<b>●お客の満足度</b> (宿泊客)	⑩ 温泉街の印象																																																						
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>男性</th> <th>女性</th> <th>不明</th> <th>計</th> <th>構成比</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>非常に満足</td> <td>26</td> <td>24</td> <td>0</td> <td>50</td> <td>18.0%</td> </tr> <tr> <td>おおむね満足</td> <td>85</td> <td>72</td> <td>0</td> <td>157</td> <td>56.5%</td> </tr> <tr> <td>あまり満足していない</td> <td>8</td> <td>13</td> <td>0</td> <td>21</td> <td>7.6%</td> </tr> <tr> <td>不満</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>0</td> <td>3</td> <td>1.1%</td> </tr> <tr> <td>わからない</td> <td>21</td> <td>16</td> <td>0</td> <td>37</td> <td>13.3%</td> </tr> <tr> <td>未記載</td> <td>6</td> <td>4</td> <td>0</td> <td>10</td> <td>3.6%</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>147</td> <td>131</td> <td>0</td> <td>278</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		男性	女性	不明	計	構成比	非常に満足	26	24	0	50	18.0%	おおむね満足	85	72	0	157	56.5%	あまり満足していない	8	13	0	21	7.6%	不満	1	2	0	3	1.1%	わからない	21	16	0	37	13.3%	未記載	6	4	0	10	3.6%	計	147	131	0	278							
	男性	女性	不明	計	構成比																																																		
非常に満足	26	24	0	50	18.0%																																																		
おおむね満足	85	72	0	157	56.5%																																																		
あまり満足していない	8	13	0	21	7.6%																																																		
不満	1	2	0	3	1.1%																																																		
わからない	21	16	0	37	13.3%																																																		
未記載	6	4	0	10	3.6%																																																		
計	147	131	0	278																																																			
(来訪者)	⑪ 温泉街の印象																																																						
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>男性</th> <th>女性</th> <th>不明</th> <th>計</th> <th>構成比</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>非常に満足</td> <td>2</td> <td>18</td> <td>0</td> <td>20</td> <td>30.3%</td> </tr> <tr> <td>おおむね満足</td> <td>13</td> <td>22</td> <td>0</td> <td>35</td> <td>53.0%</td> </tr> <tr> <td>あまり満足していない</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0.0%</td> </tr> <tr> <td>不満</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0.0%</td> </tr> <tr> <td>わからない</td> <td>4</td> <td>6</td> <td>0</td> <td>10</td> <td>15.2%</td> </tr> <tr> <td>不明</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>1.5%</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>20</td> <td>46</td> <td>0</td> <td>66</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		男性	女性	不明	計	構成比	非常に満足	2	18	0	20	30.3%	おおむね満足	13	22	0	35	53.0%	あまり満足していない	0	0	0	0	0.0%	不満	0	0	0	0	0.0%	わからない	4	6	0	10	15.2%	不明	1	0	0	1	1.5%	計	20	46	0	66							
	男性	女性	不明	計	構成比																																																		
非常に満足	2	18	0	20	30.3%																																																		
おおむね満足	13	22	0	35	53.0%																																																		
あまり満足していない	0	0	0	0	0.0%																																																		
不満	0	0	0	0	0.0%																																																		
わからない	4	6	0	10	15.2%																																																		
不明	1	0	0	1	1.5%																																																		
計	20	46	0	66																																																			

## ～道路事業を契機とした地域活動の活性化～

- ・ 事業完了後、街の若・青年層を中心に、イベント活動等が活性化。
- ・ 道路は自分たちのものであるという認識のもと、自発的に道路の清掃活動等を実施。
- ・ 沿道では、出羽商工会温海支所女性部の有志が空き店舗を活用し、日本三大古代織である「しな織」の体験サロンを運営。
- ・ 年中行事として、花見の日イベント（4月）、せせらぎ能舞台、夏祭り、川遊びイベント（8月）などを実施。



花見の日イベントの様子



せせらぎ能舞台の様子（道路を客席利用）

## 具体の整備内容

### 【道路整備】

- ・ 道路空間再配分：人がゆとりをもって歩くために、限られた道路空間を有効に活用する手段として一方通行化を、住民間の調整により実現。
- ・ 車の速度抑制：休憩施設や新設樹木を車道に張り出させるように配置し、車線をスラローム化する事で、車への速度抑制を実践。

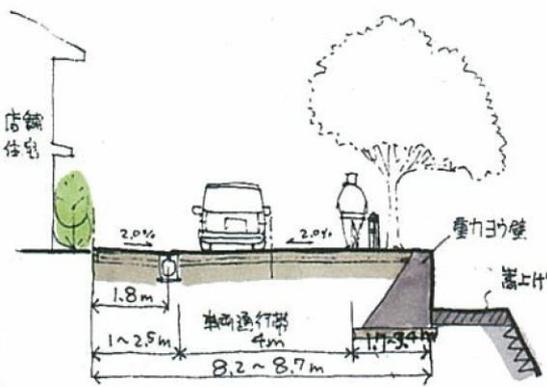


車両の一方通行化と車線のスラローム化



車両への速度抑制

- ・ 防護柵撤去：道路沿いを流れる温海川への景観を楽しめるよう、防護柵を撤去。車両の転落防止対策は施設配置で、歩行者の転落防止対策は護岸構造の工夫でそれぞれ対処。
- ・ 桜の間引き：防護柵と同様の理由で、桜の間引きを実施。河川との一体感を創出。



防護柵撤去部分の断面スケッチ



河川への眺望確保

- ・ 舗装アクセント：舗装材は事業費、沿道調和、雨天時の快適性を考慮した排水性アスファルトとし、アクセントとして休憩施設付近にカラータイルを設置。
- ・ 道路内の足湯：温泉情緒の演出、お客様を大事に迎え入れる気持ち表現する為、道路中央に植栽と足湯を設置。地元の熱い思いで交通管理者の理解を獲得。足湯の整備が目的でなく、足湯を楽しんでいる姿を風景として来訪者に見せる事が目的。



休憩施設付近に設置された舗装アクセント



道路中央部に設置された足湯

## あつみ温泉のまちづくり（山形県鶴岡市）

### 【沿道整備】

- ・**外構の撤去**：民間保養施設を旧温海町が買い取り活用する際に、これまであった外構を撤去することで、開放感を演出し、来訪者を迎え入れる空間を創出。



- ・**旅館の看板**：沿道旅館ではより温泉情緒を醸し出すため、玄関や看板等の改造を自主的に実施。

※学識者は講義の一環として、学生に既存店舗の改修スケッチ等の提案をさせ、実際にこれを実行した旅館が存在。暖簾の設置やサッシの変更、玄関先のホースの収納など。



### 【滞留拠点の整備】

- ・**迎客の装置**：居心地が良い、川の眺望が楽しめる、休んでいる人の楽しさが伝わるような休憩施設を設置、約20カ所を全て異なる形状で整備する事で、おもてなし感をメッセージとして発信。



河川沿いの道路に整備されたバリエーション豊かな休息施設

- ・**集客の装置**：店内で食事も楽しめ、様々な品々が陳列され、幅広い層の人々が楽しめる集客の拠点として足湯カフェを整備。カフェ店内では温海で活躍する陶芸家の作品や日本三大古代織である「しな織」作家の工芸品などを展示販売している。



飲食や販売など多機能集客拠点

- ・**あいさつの装置**：花や看板をあしらい沿道を華やかに飾ることで、人に代わっておもてなしのメッセージを発信。花であれば見る人の目線に合わせて飾る、看板であれば手書きで手間をかけるという工夫を実践。この発想は自主的な清掃活動にも共通している。



手書きの看板



少し持ち上げられて飾り付けられた花

## 事業を通じた課題と新たな取り組み

### 【課題】

- ・道路整備は完了したものの、まだ沿道には空き店舗も多く、更なる賑わいを創出する目標に対し、回遊性を高めるための暖簾や手書きメニューの作成などの取り組みを開始したが、景気の低迷もあり上手く活用しきれていない。
- ・コンサルタントの技術力によっては、学識者のアイデアを上手く設計に反映できない。デザインの一貫性や品質確保等は、業者の能力に左右される恐れがある。

### 【新たな取り組み】

- ・事業完了後、街の若・青年層を中心にイベント活動を主に担っている地域団体が発足。
- ・道路は自分たちのものであるという認識のもと、自発的に道路の清掃等を実施している。
- ・出羽商工会温海支所女性部の有志による団体は、沿道の空き店舗を活用し、日本三大古代織である「しな織」の体験サロンを運営している。

## 事業関係者のコメント

### 【行政担当者】

#### <計画段階>

- ・計画等に関与した学識者は、山形県から紹介を受け、講演会や研修会等の話を聞く機会を設けた。学識者には、あつみの街を実際に歩いて頂き、あつみ温泉に足りないものの指摘を受けた。
- ・当時、地元としては街路整備など事業ありきではなく、街をなんとかしなければという思いだけであった。
- ・平成14年の「湯のまちリフレッシュ事業」において、道路の中央分離帯に足湯やベンチを設置することとし、これにより大勢の人が滞留するようになり、沿道店舗のソフトクリーム販売等が相乗効果を生み、さらに集客効果が向上した。

### 【地元関係者】

#### <整備効果>

- ・葉月橋が完成し、テレビCMに使用されたころから、人が集まりだした。
- ・物が出来、人が集まってはじめて、まちが変わるという事を実感でき、物ができるまでは実感がわかなかった。